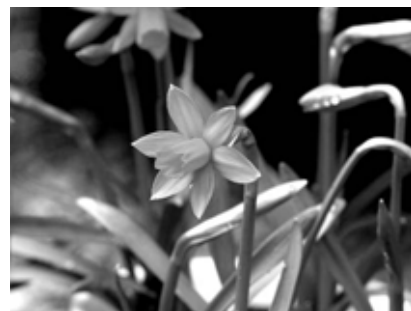


日本共産党倉敷市議会議員

田辺昭夫 ニュース



Vol. 50
2006, 2, 19



障害者

老人

ひとり親家庭

単県医療費公費負担制度

命綱を切らないで!

1割負担導入などの「改悪案」

石井岡山県知事が正式に提案

岡山県が突然発表した「単県医療費公費負担制度の見直し」(案)に対して、県内の市町村や人工透析患者、障害者団体、医療団体からの怒りを込めた抗議の声が巻き起こっています。

こうした中、石井岡山知事は2月15日、「見直し」(案)を当初案に若干の「激変緩和」を加えただけで、「所得制限」「1割の自己負担」「市町村への補助率削減」などの基本内容はそのまま、正式に提案しました。



おかしい!

福祉医療は11億円も予算を削りながら チボリ事業には22億円も税金投入

今回の見直しで、県は11億円も福祉医療の予算を削る一方で、チボリ公園事業には、18年度も22億円もつぎ込もうとしているのです。

破綻寸前のチボリより、老人、障害者、ひとり親家庭の命綱である福祉医療を守ることこそ、岡山県がとるべき態度ではないでしょうか。

県議会生活環境保健福祉委員への要請FAX
自民党議員 086-227-0537
その他議員 086-227-0536



県民のいのちを守る緊急集会が開かれました(二月十五日、県立図書館)

2月28日より県議会

県知事・県議会議員へ

「見直し案」撤回の要請行動を

2月28日からの県議会で、この見直し案が審議されます。県知事への「撤回」署名、議長、議員への「要請はがき」、県議会生活環境保健福祉委員へのFAX要請を強め、なんとしても撤回を勝ち取りましょう。

